

まちづくり活動支援対象事業のご紹介

上京区役所では、区内で新たに実施される区民やNPO、事業者の方々の自発的、主体的なまちづくり活動に対して、活動初期にかかる経費の一部の補助等を行っています。過去の対象事業の概要や活動成果等はこちらからご覧いただけます。



▲詳しくはこちら



上京ふれあいネットカミングとは...

上京区内でまちづくりに取り組んでいる個人、団体、NPO等の情報、上京区内の地域情報及び行政等の情報を集約し広く発信するWebサイトです。

<https://www.kamigyoe.net>



ホームページ

上京 カミング

検索



Facebookでも配信中



Facebook

多くのレポーターが学びながらまちづくりに関わる方々やイベント等を取材しています。取材を通じて、人や思いがつながり、より良いまちになることを目指しています。普段はWeb発信が主になりますので、この1年を振り返り、本紙でその一部を紹介します。

カミングが大事にしていること

- 区民の方々と連携して、地域の魅力の再発見につながるような情報を提供すること。(取材の企画段階から、編集に携わる区民の方々と協議を重ねています。)
- 取材を通じてできたつながりを活用し、地域コミュニティの活性化を図ること。
- 上京に暮らす人が、まちづくりに関わりたくなるような記事・デザイン・メッセージを発信すること。

レポーター募集

一緒にカミングを盛り上げませんか？

毎月新たな取材先や希望などを調整しインタビュー、写真撮影、原稿作成など担当を決め複数で取材しています。ご自身で興味のある内容を取材し、レポートすることも可能です。

取材依頼募集

こんな楽しい場所を見つけました!! こんな楽しいイベントやります!!など

自薦他薦は問いません。オススメの人物、スポット、イベントなどをお寄せください。

お問合せ 上京区役所 地域力推進室 企画担当

TEL: (075) 441-5029 FAX: (075) 432-0566



令和7年3月発行 京都市印刷物 第064906号
発行:京都市上京区役所 地域力推進室(企画担当)

上京ふれあいネット
KAMING
カミング



令和6年度を振り返って

この1年間にカミングに掲載した記事の一覧です。

I イベントレポート／まちと人をつなぐイベントのレポート

P カミングパーソン／様々な分野で活躍する方の紹介

S カミングスポット／まちの注目スポットの紹介

文化の発信

- I 千両ヶ辻で春の訪れを楽しんで
～千両ヶ辻ひな祭り桃の節句の彩り 第5回～
- I 菖蒲飾りを作ろう!—端午の節句は菖蒲と蓬の香りで邪気祓い
- I おこしやす上京 Season2「食の上京」 畑かく流!おだしのお話。
- I おこしやす上京 Season2「食の上京」 第二弾
大河ドラマ「光る君へ」 連動企画「上京が誇る食の有職文化」
- I 梨木神社で文学と自然に触れる
～ことなり京都「第1回京都やおよろず文学賞」～
- I 京都御所・御苑の魅力味わうガイドツアー
- I まち歩きツアー ぶらり歩こう 応仁の乱 東陣

学生の活躍

- I 寮生による、地域のための夏まつり
～8月10日(土) 開催!第3回継志寮夏まつりへ行こう!～
- P 幸せに暮らせる地域づくりの核となる経営者集団になろう!
- P 人とのつながりを作る上京朝カフェ
- P 次世代につなぐ「西陣織」の魅力
- P テーマは「駆ける一舞 (EVE)」—学生×地域社会を目指す同志社 EVE に向けて
- S 京都市考古資料館～様々な時代の京～
- I 西陣歴史の町協議会主催 再発見上京連続講座
交流で読み解く西陣—路地・歴史・文化—
- P 増馬さんが見つけた「ダンボール工作」の世界

未来につなぐ

- I 身近な地域で買い物～小川学区の新たな取組～
- I 子どもを見守り、地域の親睦を深める「たいけん地藏盆」
- I 地域住民も芸舞妓さんも観光客もみんな一緒に!上七軒の「盆踊り」
- P 時代を変える石屋へ—後世に残る石文化を築く
- P 子どもの笑顔がはじける「あすこ食堂」
- S 「西陣ろおじ」から学ぶ新しく懐かしい路地のカタチ
- I 西陣が好きになる「西陣 本でつなぐ人とまちスタンプラリー」
- I 建築視点で聖アグネス教会(平安女学院礼拝堂)を体感—京都モダン建築祭×ジュニア京都文化観光大使
- S 障がいのあることばたちのみかたになる場所へ
～総合レビューサイト『むぎのゆめ』



Webサイトで掲載した内容を一部お届けします

Take Free

上京ふれあいネット
KAMING
カミング
プラス

◎カミングレポート特集

文化の発信

- 菖蒲飾りを作ろう!—端午の節句は菖蒲と蓬の香りで邪気祓い
- おこしやす上京 Season2「食の上京」畑かく流!おだしのお話。
- 梨木神社で文学と自然に触れる
—学生×地域社会を目指す同志社EVEに向けて
- 増馬さんが見つけた「ダンボール工作」の世界

学生の活躍

- 人とのつながりを作る上京朝カフェ
- テーマは「駆ける一舞 (EVE)」—学生×地域社会を目指す同志社EVEに向けて
- 増馬さんが見つけた「ダンボール工作」の世界

未来につなぐ

- 子どもを見守り、地域の親睦を深める「たいけん地藏盆」
- 時代を変える石屋へ—後世に残る石文化を築く
- 西陣が好きになる「西陣 本でつなぐ人とまちスタンプラリー」

◎上京ふれあいネットカミングとは...

レポーター・取材依頼募集

◎令和6年度を振り返って...



文化の発信 古くから継承されてきた歴史や文化を見て、聴いて、体験して学べる機会が数多くあります。

菖蒲飾りを作ろう！—端午の節句は
菖蒲と蓬の香りで邪気祓い



上京区総合庁舎で開催された「京の五節句と年中行事」端午の節句展に合わせて、「菖蒲飾りを作ろう！」のワークショップが実施されました。参加者は、端午の節句や菖蒲について学んだ後、菖蒲と蓬の香りを感じながら、長い葉が折れないように奉書紙で包み、丁寧に水引を結びました。いつのまにか会場も菖蒲と蓬の香りに包まれ、邪気祓いができた様子となりました。



おこしやす上京 Season2
「食の上京」畑かく流！おだしのお話。



上京区民会議及び上京区役所では、1 年を通じて「食の上京」をテーマに、上京のあらゆる食文化の魅力に触れるイベントを実施しました。その一つとして、京料理の基本ともいえる「出汁」の取り方やだし巻き卵の作り方について、京料理畑かくの店主 新造一夫さんに教えていただきました。参加者は出汁の香りに包まれた会場で学び、味わい、おなかも心も満たされました。



梨木神社で文学と自然に触れる
～ことなり京都「第1回京都やおよろず文学賞」～



上京区に拠点を置く団体「神社仏閣をもっと身近に」は、文化やアート力を借りて、神社仏閣の魅力を地域住民や若い世代に伝える活動をしています。今回、梨木神社の由緒にちなんで「第1回京都やおよろず文学賞」を創設し、萩のトンネルを作りました。文学賞の授賞式当日は、飲食ブースや文芸同人誌即売会ブースも並び、1日楽しめるイベントになりました。



学生の活躍 地域を盛り上げる一員として、企画立案や取材に取り組んだ学生の一生懸命な姿をお届けします。

人とのつながりを作る上京朝カフェ



同志社大学 1 回生の学生たちが、まちを知り、人と人がつながる交流の場として毎月開催される「上京朝カフェ」の運営スタッフを取材しました。出入り自由で気軽に参加できる上京朝カフェでは、参加者同士で様々な情報が交わされています。その中から新たな活動が始まることもあるそうで、「人とのつながりは財産だ」と語られていました。



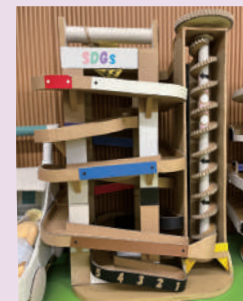
テーマは「駆ける一舞(EVE)」—
学生×地域社会を目指す同志社EVEに向けて



同志社 EVE とは、11 月 29 日の同志社創立記念日を祝う行事として学生の手によって創り上げられる記念行事の総称です。次年度の創立 150 周年を見据え、「社会とのつながり」を新たな軸として活動する同志社大学 EVE 実行委員会委員長 松澤昂大さん、副委員長で渉外局長の佐藤郁美さんにインタビューしました。学生が輝き、年に一度の同志社 EVE を全力で「駆け」抜けて、150 周年への「架け」橋となり、学生、大学、地域を「掛け」合わせ、新たなつながりが生まれています。

増馬さんが見つけた
「ダンボール工作」の世界

大学生レポーターが、ダンボールおもちゃ創作作家としてのづくりに取り組む増馬英樹さん取材しました。増馬さんは、捨てられるはずの素材を再利用しておもちゃを作り、子どものいる施設へ無償で届けています。「多くの人に喜びを届けたい」との思いを持って、おもちゃや楽器、スマホ立てなど世界に一つしかない作品を生み出しています。



未来につなぐ

ひとやまちを時代にに合わせてしなやかに紡ぎ、
いつまでも活気あふれるまちを目指す取組が行われています。

子どもを見守り、地域の親睦を深める「たいけん地蔵盆」



待賢住民福祉連合協議会は、地域の子どもの成長を願う行事である地蔵盆を、地域の子もたちに体験してもらいたいと、元待賢小学校で「たいけん地蔵盆」を開催しました。48 名の子どもが集まり、お坊さんによる法話と数珠回しのほか、行灯づくり、射的、紙芝居などのプログラムに参加し、「楽しかった」「友達と遊べた」と子どもたちは大満足でした。

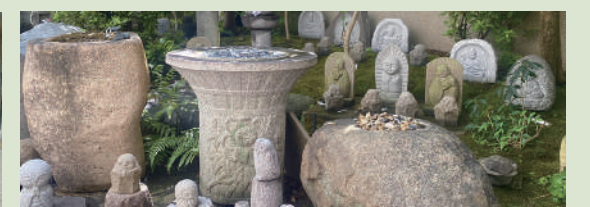


時代を変える石屋へ—後世に残る石文化を築く

今から 290 年ほど前の享保年間に創業、石茂(株)芳村石材店 山田麗さんに事業や展望についてお話を伺いました。石材における企画・設計施工を中心に、オリジナル石グッズの販売など多岐に及ぶ事業を展開しています。多くの産地や石工とつながり、ニーズに合わせた高品質の石造品を提供することで日本の伝統芸術にも貢献したいという思いから、「日本文化である社寺建築、鬼門除けの文化など、ともに発展してきた石の文化を伝え、自然を尊重し、時代を変える石屋になりたいです。」と笑顔で語る姿に明るい未来を感じました。



日本文化である社寺建築、鬼門除けの文化など、ともに発展してきた石の文化を伝え、自然を尊重し、時代を変える石屋になりたいです。」と笑顔で語る姿に明るい未来を感じました。



西陣が好きになる「西陣 本でつなぐ人とまちスタンプラリー」

今秋、「本でつなぐ人とまち」の主催で西陣にある 6 つの書店や私設図書館を巡るスタンプラリーが開催されました。スタンプを押すだけでなく、ガチャガチャを置いてお店の特徴が伝わるように工夫したところ、店主と参加者の間の交流が生まれ、参加者から「まち歩きが楽しい」「自分の通うお店以外の本屋さんを知る良い機会になった」と好評を得ました。

